

# 学力向上アクションプラン(日出町)

## 目標及び指標

### 【目標】

1. 「新大分スタンダード」に基づく授業改善の徹底
2. 基礎基本の徹底(低学力層の底上げ)
3. 活学力の向上

### 達成指標

町内全ての小中学校が、「授業改善の5点セット」の検証指標を達成する。

### 取組指標

<p>日出町標準学力テストにおいて、正答率60%未満の児童・生徒の割合を20%以下にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員は、互見授業等の他の教員の参観がある授業では取組指標に基づいた授業を行う。</li> <li>・管理職は、互見授業等の参観した授業では取組指標に関する指導・助言を授業者に行う。</li> <li>・各校は、「授業改善の5点セット」の中間検証を行う。</li> </ul>
<p>日出町標準学力テストにおいて「活用」の平均正答率が、全小中学校の全教科で全国平均を超える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員は、評価規準に達しない児童生徒への手立てのある授業を毎時間行う。</li> <li>・各小中学校は、月1回以上補充学習を実施する。</li> <li>・各中学校は、昼休みや放課後を利用して補充学習を実施する。</li> <li>・単元末のテストで、小学校は各校ごとに、中学校は実施教科ごとに目標値を設定し、低学力層の減少に向けた改善を行う。</li> </ul>
<p>日出町標準学力テストにおいて「活用」の平均正答率が、全小中学校の全教科で全国平均を超える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で全教員が全国学力学習状況調査問題を解く校内研修を実施する。</li> <li>・各校で全国学力学習状況調査及び大分県学力定着状況調査の結果を分析する。</li> <li>・全教員は、学力向上支援教員及び習熟度別指導推進教員の公開授業に1回以上参加する。</li> <li>・全教員は、「めあて」や「課題」が位置付いた授業を毎時間行う。</li> </ul>

## 行動計画

### ①「中学校学力向上対策3つの提言」の実施に関して

- 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底について
  - ・授業改善の5点セットにおける取組内容・取組指標を見える化し、どの教員も日常的に取組む体制をつくる
  - ・互見授業の際は、対象生徒を絞り込み、本時のねらいと評価規準に基づいた授業観察を行う。
  - ・習熟度別指導を学校の実態にあわせて数学、英語で行う。
  - ・昼休みや放課後を利用した補充学習を実施する。
  - ・夏季休業中に学習相談を実施する。
- 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築について
  - ・教科部会(日出町研究協議会)での授業研究を実施し、授業改善に向けた取組を推進する。
  - ・日出中では教科担任のタテ持を継続する。
  - ・大神中学校に理科の学力向上支援教員を配置し、低学力層の底上げに向けた授業改善を推進する。また、大神小学校5、6年の理科も担当し、小中連携による授業改善を推進する。特に大神小学校の教務主任等と連携し、9年間を見通した教育課程の編成を推進する。(大神小中一貫教育に向けた研究のスタートとして位置付ける。)
- 「生徒と共に創る授業」の推進について
  - ・学校が目指している授業像を生徒と共有する。
  - ・生徒による授業評価を実施し、それを授業改善に反映する。
  - ・小中学校間の交流を積極的に行い、小中の円滑な接続を推進する。
  - ・「学びに向かう学校」の中核校である日出中の取組を町内小中学校へ広める。

### ②小学校の授業改善の取組について

- 学校全体で取り組む授業改善に向けて
  - ・授業改善の5点セットにおける取組内容、取組指標を見える化し、どの教員も日常的に取り組む態勢をつくる。
  - ・互見授業の際は、対象生徒を絞り込み、本時の評価規準に基づいた授業観察を行う。
- 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて
  - ・習熟度別指導を、学校の実態にあわせて算数で行う。
  - ・放課後を利用した補充指導を計画的に実施する。
  - ・夏季休業中にステップアップ講座を実施する。
- 学校図書館を活用した指導の充実に向けて
  - ・図書館活用を位置付けた年間指導計画について、その進捗状況を司書教諭等が確認し、司書教諭部会で情報交換する。
  - ・司書教諭等が、職員に対して図書館活用の啓発や図書館使用の調整を学校司書とともに実施する。
  - ・学力支援教員(国語)は、図書館及び学校司書を活用した授業を公開する。(3回のうち1回は)

### ③家庭・地域と連携した学力向上の取組について

- 学習ボランティアの活用(小学校)
  - ・月1回の放課後補充学習
  - ・授業中のサポート
  - ・夏期休業中のステップアップ講座
- 教育委員会主催による「土曜子ども教室」の開催
  - ・全小学校の高学年を対象(平成28年度23名)
  - ・ALTを活用した英語教室
  - ・地域のボランティアを活用した料理教室、和裁教室
- 学校運営協議会との連携
  - ・校区内の小中で統一したノーメディアデーや学校公開日の設定